

えどがわボランティアセンターだより



出会い

ふれ合い

助け合い

令和7年10月発行
第74号

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【発行】

公益財団法人えどがわボランティアセンター
〒132-0031 江戸川区松島1-38-1 グリーンパレス
電話:03-5662-7671 FAX:03-3653-0740

江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます。



生徒のボランティア活動について 春江中学校 横枕 耕史 校長にお話を伺いました

春江中
マスコット
キャラクター
「はるん」



1 春江中学校はボランティア活動に力を入れておられると伺いましたが、これにはどのような理由があるのでしょうか。

私は本校に着任して5年目になりますが、着任当時はコロナ禍でどことも繋がりが無い状況が続き、前任校で地域ボランティアや地域防災にも力を入れてきたこともあり、生徒たちと地域の繋がりを活性化させなければならぬと考えました。それに教員の働き方改革も含めてボランティア活動を進めて行きたいと考えました。

学校には地域からボランティアや地域行事などいろいろな依頼や要望がきますが、教員は部活動もあり休日出勤をしなければならなくなり、全部に応えることは難しい状況です。そこで、ボランティアの推進と教員の働き方改革を同時に進めるために当時のPTA会長とも話して新しいシステムを作りました。

以前は町会からお祭りのボランティアなど依頼があると生徒たちに声をかけ、部活動単位で半強制的な形態でお手伝いをするという形でした。しかし、そのような参加形態ではなく、自らの意思でボランティアに手を挙げた生徒たちが地域で活躍するという形を作り上げました。

- ①中学生ボランティアを募集する地域団体から学校への依頼があれば、副校長をサポートする本校の経営支援部が申込書を受け付けます。
 - ②経営支援部では町会作成の行事のチラシがあれば、それを生徒の一人一台端末(iPad)に送信し、全校生徒へボランティア募集を周知します。
 - ③ボランティア募集の通知を見て自ら手を挙げた生徒を昼休みに一室に集め、町会の担当者より事前の説明や役割分担などしてもらいます。ただし、生徒に魅力のない行事は人数が集まらないこともありますので、生徒が参加しやすい持続可能な内容を地域にも考えていただいています。
 - ④ボランティア参加生徒には、学校からPTAに作っていただいた「春江中ボランティアTシャツ」を貸し出します。
 - ⑤ボランティア当日、教職員は基本的には現場へは出向かずに、地域の担当者の方が参加する生徒に仕事内容を直接教え育成しながら活動を行います。
 - ⑥ボランティア終了後、参加生徒はボランティアTシャツを学校に返却します。ボランティア活動証明書や感謝状をいただいた場合は、朝礼等で全校生徒の前で表彰します。
- ※この仕組みは春江中学校のホームページに掲載して周知を図っています。

また、本校は、防災教育にも力を入れています。日中に災害が発生した時に実際に地元において活動できるのは中学生ですから、防災活動に自主的に活動できる生徒の育成を目指しています。令和4年度から「春江中学校ボランティア」を立ち上げ、中学生と地域が協力して防災訓練を実施するなどの活動に対し、昨年「第21回地域の防火防災功労賞」の優秀賞を東京消防庁から受賞しました。(2面へ続く)



横枕校長



春江小学校オータムフェスティバル



新堀小学校でのボランティア活動



新堀小学校フェスティバル(相撲)

問合せ先 (公財)えどがわボランティアセンター ☎03(5662)7671

(1面からの続き)

2 生徒がボランティア活動を積極的にすることで、学校全体に何か変化はありましたか。また、校長先生はボランティア活動をしている生徒に接してどのようなことをお感じになられていますか。

本校では「はるえアクション・スローガン」を掲げ、「はっけん(発見)・気付き」「ルートを考え、つながる」「えがお(笑顔)を創り出す」をキャッチフレーズに生徒たちにトライ&エラーを繰り返しながら失敗を恐れずどんどん様々なことにチャレンジしていこうと呼びかけています。

ボランティア活動に参加する生徒は、リーダーシップがあり活発な生徒、教室ではおとなしい生徒、無口だけど心優しい生徒、リアルな人間関係は苦手だけど私もやってみようと思える生徒、など異なる個性を持った生徒たちがボランティアに参加し、地域の方に認めてもらったことで、やり甲斐を見出し、ボランティア活動で何かしらの良い影響を受けています。

令和7年度全国学力学習状況調査の結果で「自分には良いところがあると思いますか」という問いで「当てはまる」と答えた生徒が全国40.7%、東京都44.3%に対し本校は49.2%と抜群に多く、ポジティブ・シンキングできる生徒が多い結果でした。

地域から春江中学校の生徒が頼れる存在になっていると評価・感謝されることもあり、これまで進めてきたボランティア・マインドの醸成による結果ともいえ、大変うれしく思います。

今後も地域と学校が連携しながらボランティア活動を推進し、未来を担う人材となる生徒を育て伸ばす教育を実践し、持続可能な社会の実現を目指していきます。



地域防災訓練



「2025 夏のボランティア体験」を実施しました

夏休み(7月19日～8月31日)を利用して、ボランティア活動を体験する「夏のボランティア体験」が今年も開催され、延177名が参加しました。

保育園や図書館、高齢者・障がい者施設、すくすくスクール、ボランティア団体等、162の施設・団体に体験者の受入れについて、ご協力をいただきました。

昨年度から、団体が企画するイベントの準備や運営に携わるボランティア体験も新たに加わり、体験者の皆さんには選択肢が広がり、大変好評でした。

このような様々な体験を通して皆さんは、「ボランティア」への認識を深める良いきっかけになったことと思います。



介護施設での夏ボラ体験

第48回 “江戸川区民まつり”に集合しよう!

令和7年10月12日(日)9:00～16:00まで、都立篠崎公園の「好奇心のひろば」(ボランティアコーナー)に出展します。毎年、大好評の“風船づくり”のコーナーでは、ボランティアの皆さんが、剣、花などを作ってくれます。また、ボランティアによる手話の体験もできます。自分の名前や住所を手話で表現してみましょう。

皆さん是非お立ち寄りください。お待ちしております。



昨年の区民まつりの様子

このページのお問い合わせ先

(公財)えどがわボランティアセンター

Tel 03-5662-7671

ボランティアさん募集情報

募集情報の掲載を希望される施設や団体の方は、
ボランティアセンターまでご連絡ください。
TEL 03-5662-7671 / FAX 03-3653-0740

都立白鷺特別支援学校同窓会

- 1 内 容 … 同窓会総会(アトラクションあり)受付、会場誘導などの運営の手伝い(準備、片付け含む)
- 2 日 時 … 11月16日(日)9時15分～12時30分(集合9時00分)
- 3 場 所 … 白鷺特別支援学校(東小松川4-50-1)
- 4 交通手段 … 都営地下鉄新宿線「船堀駅」より徒歩10分、東京メトロ東西線
西葛西駅より都バス新小21「新小岩駅」行き「松江第一中学校前」下車、
葛西駅より都バス錦25「錦糸町駅」行き
「松江第一中学校前」下車
- 5 交通費 … 実費支給(1,000円まで)
- 6 昼 食 … 支給なし
- 7 持ち物 … 室内シューズ
- 8 連絡先 … 090-7201-9255 担当:亀山



第30回 MOA美術館江戸川区児童作品展

- 1 内 容 … MOA美術館江戸川区児童作品展における絵画・書写作品の展示及び撤収作業
- 2 日 時 … 展示作業=令和7年11月29日(土)9時から12時(集合9時00分)
撤収作業=令和7年11月30日(日)14時から16時30分(集合14時00分)
※いずれか1日の参加も可能
- 3 場 所 … タワーホール船堀展示ホール1(船堀4-1-1)
- 4 交通手段 … 都営新宿線「船堀駅」北口から徒歩1分
- 5 募集人数 … 各日10名(10歳から60歳まで)
- 6 交通費・食事 … 支給なし
- 7 服 装 … 動きやすい服装
- 8 募集締切 … 令和7年10月31日(金)
- 9 申込方法 … 電話での申込み
- 10 連絡先 … 03-5605-3608 担当:青山



ボランティア 団体登録数

登録団体数:162団体
登録人数:3,434人
(令和7年8月末現在)



●使用済み切手
受領:41件/16.5Kg

ボランティアの振興に、
有効に使わせていただきます

ありがとう
食べながらでこめんね。
だっておなかすいちゃったんだもん



えどがわボランティアセンター
公認キャラクター「えどボラちゃん」

110 edogawa
使用済み切手換金報告
(R6年12月～R7年7月分)

換金額/¥38,640
(総量/55.2kg)

ボランティア・寄贈者の皆さま
ご協力ありがとうございました
ボランティアの振興に有効に使
わせていただきます

Volunteer Center



ここでも
ボランティア①

ひらい圓蔵亭でおはなし会が開催されました



7月21日にひらい圓蔵亭で「江戸川区の昔話」が開催されました。はじめに「江戸川区の昔話を語り継ぐ会」(代表: 八角尚見さん)の会員が、平井の昔話、小松菜の名前の由来、善養寺にまつわる怖い話を紙芝居で披露しました。その後、ひらい圓蔵亭が開設される際の話や当時の江戸川区の課長、地元の方、ひらい圓蔵亭の前館長と多田前区長が実話をもとに対話形式で話しました。子どもから熟年者まで約30人の皆さんが楽しそうにお話を聞いていました。



ここでも
ボランティア②

なぎさ☆キッチンが開催されました



月に一度、なぎさ和楽苑が開催する地域食堂「なぎさ☆キッチン」が7月26日に開催され、子どもから高齢者まで、多くの方が参加されました。冷やし中華や手作りシュウマイ、デザートなどを味わい、かき氷なども用意されていて皆さん美味しそうに食べていました。冷やし中華の野菜・トマトは、なぎさ和楽苑の菜園でとれたものを利用しました。それをボランティアの方たちが心を込めて準備していただきました。食事の後には子どもたちがスイカ割りをして楽しみました。



ここでも
ボランティア③

講座「腹話術はじめの一步」が開催されました

腹話術の楽しさを広めたいと、8月23日にタワーホール船堀で講座が開催されました。長年プロとして活躍されているしろたにまもるさんが腹話術の相棒のゴローちゃんと、戦争と平和のお話をしました。また、参加の子どもたちと一緒にやるマジックなども披露され、とても盛り上がりしました。「健ちゃん福和術会」(代表: 兜美千子さん)のメンバーも、練習の成果を発表しました。

「健ちゃん福和術会」は平成25年に設立され、高齢者施設や保育園などで腹話術の活動を行っています。腹話術は楽しいお話はもちろんですが、直接は言いにくいことも、人形が話すようにソフトに伝えることができます。多くの方に腹話術を見学、体験していただきたいです。



使用済み切手とベルマークを寄贈していただきました



みんなありがとう!

8月25日に当センターへ明治安田生命保険相互会社江東支社船堀営業所から使用済み切手約1300枚及びベルマーク約1500枚を寄贈していただきました。以前よりボランティアの活動に対し会社を挙げて支援をされており、ボランティアフェスティバルにも参加しています。

寄贈いただいた使用済み切手、ベルマークはボランティア活動の振興に有効に使わせていただきます。



問合せ先

(公財)えどがわボランティアセンター ☎03(5662)7671